

第2庁舎の焼損は建物全体の35%、公文書は3310冊が被害に 市議会全員協議会で副市長らが報告。市長は姿見せず

市議会全員協議会が21日開催されました。議題は市役所木田第2庁舎の火災についてです。副市長や財務部長などが出席して、8月6日に発生した火災の状況と被害状況などについて説明しました。しかし、「市民の暮らしを守る拠点」の火災にもかかわらず、市長の姿は見えませんでした。

市の説明によると、焼損した建物面積は353㎡で、建物全体の床面積の35%にのぼります。机、イス、書庫、電話機など420点の備品に被害が出て、パソコン、プリンターなどリース備品も96点被害にあったそうです。公文書では全部焼損が819冊、一部焼損が1900冊、一部水損が591冊、合計で3310冊が被害にあつたということです。



説明後の質疑応答では、「あつてはならない場所での火災」なのに、「なぜ最高責任者である市長が出席して謝らないのか」と私が質問すると、野口副市長は、「市長は6日、9日と記者会見で説明している。今回は概略、経過の説明なので私たちが説明した。今後、(再発防止策などの)方針が出れば市長から説明してもらおうことになる」との答弁でした。

たしかに市長は、記者会見で市民に謝罪しています。でも、火災後、市民の代表である議員全員が集まって協議する場があるなら、そこに出て、改めて謝罪し、今後の対策強化に向けて決意をのべる丁寧さがあつてしかるべきではありませんか。

こうした火災があつた後、行政がやるべきことは、警察や消防署などとの連携の下、火災原因と状況を徹底して調べ、議会にもきちんとして報告し、議会の意見も聴いたうえで、再発防止対策を確立することです。

私からは、「いろんな角度から厳しいチェックが必要だ。今後、いつ頃までに、どういうふうにしていくのか、方向性を示してほしい」と質問しました。池田財務部

長は、「庁舎の防災、安全については我々も改善すべき点があると思つている。9月議会のなかで十分説明できる材料が整つたら説明していく」と答えました。9月議会でも引き続き質問していかなくてはなりません。

左上の写真は会議後、火災が発生した第2庁舎を視察する市議会議員です。警察の調査などもあつて、建物の中での写真撮影は禁止されていました。

一般質問締め切り

これまでより2日早く

市当局は議会に対して、職員の残業がかさむことなどを理由に「一般質問の締め切りをこれまでよりも2日早めてほしい」と求めてきていました。

この要望について審議してきた



【クサギ】シソ科の落葉小高木。漢字で「臭木」を書きます。花は8月に咲きます。市内各地で咲いていますので、探してみてください。臭いがするのは主に葉です。写真は14日、尾神岳にて撮影しました。

議会運営委員会は21日、日本共産党以外の賛成多数で受け入れることにしました。

日本共産党議員団は、職員の残業を減らすことには理解を示しながらも、2日早めるなら定例会審議日程を決める議運を2日早めるなり、定例会そのものの開催を2日遅らせるなどの措置をとるなどして、質問準備時間を保障すべきだと主張してきました。

行政側の要求を一方的に受け入れられるというのは、これまでの相撲の土俵を行政の主張だけ採用して変更するようなものです。許せません。



安倍首相の退陣求め街宣

北陸信越ブロック内の日本共産党組織は22日、一斉に街頭宣伝を行いました。私も後援会の仲間とともに浦川原区、安塚区、大島区の7か所で演説してきました。

私は「安倍内閣の暴走はもうごめん、いつときも早く解散総選挙を実現しましょう」「市民と野党の共闘推進を」と訴えてきました。連絡なしの演説にもかかわらず、何人もの市民の方から応援していただきました。感謝です。



No.1821 2017.8.27
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
 「ホーセの見
 てある記」は
 ← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四六九回

おもいをカタチに

三年前のお盆の頃だったでしょうか、私が柿崎区の光徳寺を初めて訪ねたのは。「お寺のお堂で、だれでも出展できる面白い作品展をしてるよ」。知り合いの人から、そう言われて出かけたのでした。

正直言って、作品展といっても、お堂の一角でやっているくらいかなと思っていました。ところが入ってみて、びっくり。作品はお堂の一角どころか、お堂全体に広がっていたのです。

最初に目が行ったのは私が知っている人の作品です。その一人、ヒョウタンを使った作品づくりには精を出していたKさんの作品の中では、左右に伸びた筒の中央部に仏様が座っているものが強く印象に残りました。現実の世界で苦悩する人たちと信仰への道を表現しているように見えたのです。

仏壇のそばには、虹のような色合いのさをり織の作品が高いところから低いところへと流れるように飾られていました。作品は明るくて、自由奔放な精神が宿っているように思えました。これは大潟区のSさんの作品でした。

このほか、会場となったお堂では佐渡おけさをしなやかに踊っている女性を切り絵で描いたもの、水色の朝顔の花と葉を涼しそうに描いた水彩画、竹で作られたいろんな大きさのザルや籠などが所狭しと展示されていました。

作品をひと通り観たところで、スタッフの一人の方からお茶を飲んで行ってくださいと勧められました。そこにはテーブルとイスが並んでいて、作者を含めて数人の人がいました。とてもいい雰囲気の中で、お茶をご馳走になりながら楽しくおしゃべりさせてもらいました。

以来、私は毎年八月になると、光徳寺の作品展に出かけるようになりました。訪れ

ると毎回、新しい作品との出会い、発見があります。今年もいくつかの作品とのうれしい出会いがありました。

そのひとつは「初めての絵」というタイトルがつけられたFさんの水彩画です。四枚の絵に描かれていたのはカボチャやサツマイモなど身近にある食べ物です。あつさりした色塗りですが、野菜の配置がびたりと決まっています。本当に初めて描いたものかと思いましたが。

いま一つは小学四年生、K子さんの「これ、食べていいかな？」という絵。これも惹きつけられました。太陽が照りつける中、空には白い雲、二つの里山にはたくさんのお花が咲いている。そこにウサギなど五匹の動物たちが腕組みしたり、物を持ったりしている姿が描かれていました。絵を見ると、これから一つの物語が始まるのではといった期待感がふくらんできます。K子さんは将来、絵本作家になるかも知れないと思うほど素敵な作品でした。

光徳寺作品展の正式名称は「みんなのお寺のみんなの作品展」。思想信条、宗教の違いを越えて、まさにいろんな人の作品が寄せられます。今回、お堂の入り口付近に飾られていた作品の中にキハダを使って制作された手すき和紙や箸、押し花などがありました。作品の説明を読んで、「あっ、これだ」と思いました。そこには、「それぞれのおもいが一つの『カタチ』になりました」と書かれてあったのです。

自分の思いを何らかの形で表現したいという人がいて何かを制作する。作ったからには、この作品を他の人から見てもらいたい。そして、お寺に作品を持ちこみ、みんなで楽しむ。みんなの作品展、今年は展示期間の途中からの参加もあったようです。これからもずっと続けてほしいですね。

大潟区の新体操アリーナ 説得ではなく、納得のいく説明を！

19日の午前、大潟区に建設される予定の上越体操アリーナについて大潟区在住市民有志のみなさんと意見

交換をしてきました。

地元の人たちですから、それなりに期待の声が強いのですが、それでも事業費がなぜふくらんだのかとか建設場所決定の詳しい経過と安全対策などに不安と懸念があることがわかりました。また、オリンピックの事前合宿、練習の場としてドイツとどういう契約を交わしたのか、あるいは交わすことになるのかなどいくつか質問も出ました。

参加者の一人が、行政側は説得ではなく、市民が納得できる説明をしてほしい、とのべておられたのが印象に残りました。

上越体操アリーナについては、24日にも市民プラザにて、日本共産党議員団主催の「市民の皆さんの意見をお聴きする会」が開かれます。次号ではその結果もお知らせします。

三市連絡会総会開催

「在来線を守る三市連絡会」の定期総会が17日、直江津にてありました。

昨年度の活動報告の中で注目し



たことのひとつは、通学定期値上げ問題です。初乗り運賃による値上げで、トキ鉄は激変緩和措置（本年3月末まで）として、回数券またはフリーパス配布の措置を撮りましたが、申請は92件、35万4900円であることがここでも明らかにされました。もうひとつ、通学定期への補助について、妙高市や関川村のことを例に挙げ、「教育権の補償の一環として実施している」とのべられたことも注目しました。大事な視点だと思います。（写真は犀潟駅）

参加者の中には国鉄マンが何人かいて、総会後の懇親会では、「蒸気機関車がトンネルに入る直前に『幕引き係』という担当者がいた」など懐かしいエピソードを聞きました。

上越地域各消防署における 空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月16日(水)	8月23日(水)
上越南消防署	0.050	0.040
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.050	0.053
頸北消防署	0.043	0.047
頸南消防署	0.063	0.063
東頸消防署	0.057	0.057
高士分遣所	0.053	0.043
名立分遣所	0.050	0.057